

実施報告書

第10回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ

ミキハウスカップ大阪 2023

実行委員長 玉置 純

(一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)

第10回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪 2023)は例年通り、大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)において、スポーツ庁、外務省、公益財団法人日本セーリング連盟(以下 JSAF)の後援と三起商行株式会社(以下 ミキハウス社)の特別協賛、大塚製薬株式会社、株式会社フォーチュン、ゆうこうマリナ株式会社の協賛、大阪府ヨットセーリング連盟の協力を得て、一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 JJYU)の主催により、9月3日(日)に開催いたしました。懸念された新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せていましたが、感染対策には万全を期して、レガッタに臨みました。

3日のレース当日は地元の大阪をはじめ、和歌山、兵庫、京都、滋賀、香川、愛媛、愛知より昨年大会と同数の選手42名の参加があり、OP級上級者クラスに21艇、OP級初級者クラスに13艇、ILCA4に5艇、ILCA6に3艇、の内訳となりました。また、参加クラブは10と過去最高の参加クラブ数となりました。



開会式

7:30 ハーバーゲートオープン、8:00 から参加者を受け付け、9:00 開会式、スキッパーズミーティングと予定通り進める事が出来ました。

開会式は石原会長のご挨拶に続いて、前年度 OP 級上級者クラス優勝の B&G 高松海洋クラブの直井胡帆(なおいこほ)さんの優勝杯返還、会長よりレプリカ授与と進みました。

レガッタ副会長でもある大阪府ヨットセーリング連盟の新会長中西克誠様から有難い歓迎のお言葉を頂戴致しました。結びに特別協賛を頂いております株式会社ミキハウス様を代表して須長由季様から選手へ激励のお言葉を頂き、選手のモチベーション高揚に努めて頂きました。

開会式に続きレース副委員長の上田浩三様に選手、コーチ、保護者にレース運営全般のブリーフィングを行って頂きました。



石原会長のご挨拶



優勝杯返還



中西克誠様



須長由季様

レース

今年のレースは新型コロナウイルス感染対策に基づいたレース運営方式を緩和し、出艇・帰着申告方法を通常の様式に戻して陸上本部での選手各自による申告方式で開催する事が出来ました。

A 海面 (I LCA4、6 OP 上級)

朝から晴れた二色ハーバー沖の海面は北の風 9 knot で始まりました。予定通りに午前 10 時 00 分 I L C A (4 , 6) 7 艇の予告信号を発し 10 時 0 5 分にスタートし、引き続いて OP 級上級者クラスのレースを行って、全種目とも 5 レースを実施しました。

風向 340°、風速 8knot から 14knot と、風向・風速共に安定した良いレースができました。

セーリングに良い状態でレースが出来たため第 3 レースのあとに休憩時間を取ることもでき無事に終了することができました。

■ OP 上級者



スタート



2 マーク目指して



2 マーク回航



3 マークへのランニング



バックにはスカイゲートブリッジ R



フィニッシュ

■ I LCA4、6



スタート



B 海面(OP 初級)

OP 初級者クラスのレースエリアは通常通り二色浜沖合の岸壁寄りに設定し、コーチや保護者の声援の中白熱したレースを体験できました。

13 艇がエントリーしていましたが当日 1 艇が参加を見合わせましたので 12 艇のレースとなりました。

午前中に 6 レースが終了して、お昼に一度ハーバーに戻り午後から 3 レース計 9 レース行う事ができました。

午前は 320°から 340°の風向でしたので上マークを 330°に設定して、1 レース所要時間は 5 分～7 分程度の少し短めのコースでレース回数をこなし初心者の選手達にレースの楽しさを体験して頂きました。

風速は 5knot から 6.6knot、ブローで 7.5 knot 程度で波も穏やかでしたので初級者には走らせ易いコンディションでした。

午後からも変わらず 320°から 340°の風向でしたので上マークを 330°に設定レース所要時間は 7 分～10 分程度の午前より少し長めのコースで初心者の選手達に艇速と仲間と競う楽しさを体験して頂きました。

風速は 6knot から 9knot、ブローで 10knot 程度で風速は午前中より出て参り三角波が立ったため初級者では少々走らせ難いコンディションのようで中には苦労している選手も見受けられました。

今がッの OP 級初級者は初級者と言っても上位を走っている選手の技量は高く、スタートやマーク廻航でも安定した走りをしていたのが印象的でした。しかしながら、ヨットレースの経験が浅いからかスタート後のフォーンやリコール艇在りのフラッグが揚がった事を確認出来ず、走り続け OCS となってしまった選手もいて、最終順位も落としてしまい大変残念な結果となりました。この経験を糧として今後、尚一層練習に励んで自艇を走らすだけでなく周りも見られて即座の状況判断が出来るような選手になる事を願いながら報告とさせていただきます。



スタート



1 マーク回航



フィニッシュライン目指して

懇親パーティー

全チームの後片付け完全終了可能時間という事で予定より 5 分遅れの 16 時 05 分より懇親パーティーを開催しました。

今回の懇親パーティーは大阪ジュニアヨットクラブの保護者の皆様のご協力によりあらゆる状況を鑑みてテイクアウト可能な BOX に手作りサンド、唐揚げとポテトにお野菜というバランス栄養食で大好評となりました。

また、目玉として満を持して供された二色たご焼きは大人気で懇親パーティー前から焼き始めて、懇親パーティー中もずっと焼き続けるという大サービス状況でした。

懇親パーティー開始 30 分後から待ちに待った成績発表に移りました。

クラブ対抗レースは B&G 高松海洋クラブが見事な優勝を飾りました。

各種目の入賞者は以下の通りです。

表彰状の授与では石原会長のマイクパフォーマンスで大変盛り上がり、海外セーリング研修で訪問したシンガポールでの表彰式を彷彿させる今までになく暖かく楽しい表彰式となりました。

賞状とメダルの他の副賞賞品については株式会社ミキハウス様からの提供の品々が多数授与され選手の皆も大喜びでした。



成績

クラブ対抗レース

- 優勝 B&G 高松海洋クラブ
- 2位 大阪ジュニアヨットクラブ
- 3位 宮津ジュニアヨットクラブ



OP 級初級者クラス

- 1位 枝 大輝 宮津ジュニアヨットクラブ
- 2位 秋村 柚月 B&G 高松海洋クラブ
- 3位 城石 朋春 B&G 高松海洋クラブ
- 4位 川北 華子 B&G 高松海洋クラブ
- 5位 木下 怜勇 大阪ジュニアヨットクラブ
- 6位 窪田 龍平 大阪ジュニアヨットクラブ



OP 級上級者クラス

- 1位 山本 汐穂 B&G 高松海洋クラブ
- 2位 直井 胡帆 B&G 高松海洋クラブ
- 3位 直井 舷太 B&G 高松海洋クラブ
- 4位 和田 悠生 B&G 高松海洋クラブ
- 5位 松岡 忠尚 B&G 高松海洋クラブ
- 6位 林田 大和 大阪ジュニアヨットクラブ



ILCA4

- 1位 川北 智大 B&G 高松海洋クラブ
- 2位 鈴木 駿 B&G 高松海洋クラブ
- 3位 山中 逞海 和歌山ジュニアヨットクラブ



ILCA6

- 1位 鶴田 奏 大阪ジュニアヨットクラブ
- 2位 木下 明砂 大阪ジュニアヨットクラブ
- 3位 松下 諒也 B&G 高松海洋クラブ



最後に

、参加者みんなで記念写真を撮り特別協賛のミキハウス様、大阪ジュニアヨットクラブのお手伝い頂いた方々に御礼を申し上げ、全員で後片付けを行い、来年の参加へのお約束をして無事終了散会致しました。

以上

